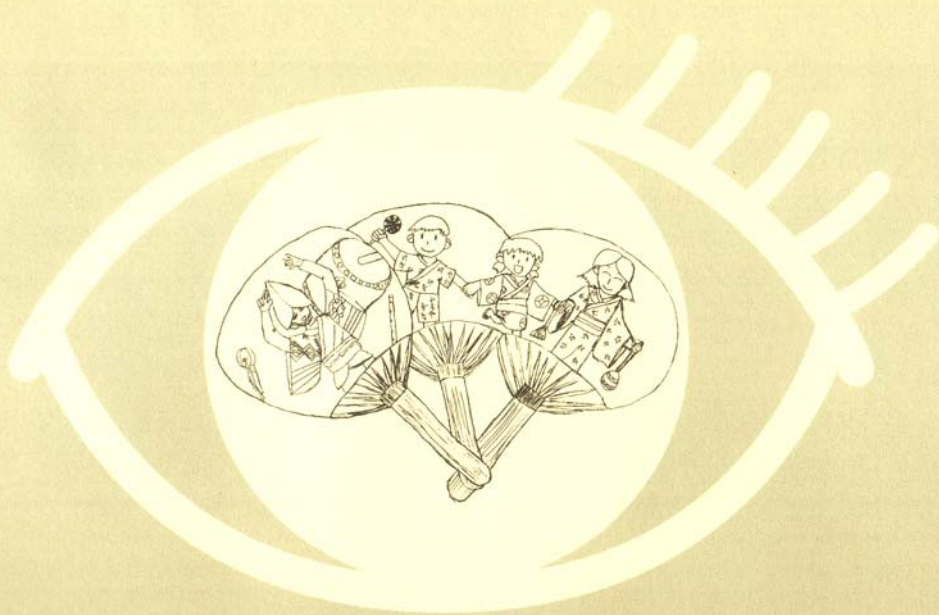


南越谷防犯のまちづくり 防犯ハンドブック

あなたの目が犯罪を減らす



南越谷地区コミュニティ推進協議会

はじめに

平成18年度に南越谷地区コミュニティ推進協議会が実施した「住民でできる防犯に関するアンケート調査」で、住民同士のコミュニケーションの大切さとパトロール・一斉清掃をはじめ、各種団体の連絡・調整を図って、効果を高める要望や意見が多数記述されていました。

- 当協議会では防犯について検討を続けてきましたが、住民個人が日常生活の中で防犯意識を行動にうつすキッカケづくりとして、一声運動の推進と現在、活動を行っている各種団体そして行政との連絡・調整を行う組織と仕組み（情報共有システム）を考案してみました。
- 安全・安心でふれあい豊かなまちづくりをモットーに、自分たちのまちは自分たちで守るための防犯活動を推進していきましょう。
- 犯罪の多くは私たちの日常生活の場で発生しております。各種詐欺、誘拐、住宅侵入、スリやひったくり、乗り物盗や車上荒らしなどです。
- 犯罪を防ぐためには、自分の身は自分で守るための防犯意識をしっかり持ち、対応策を行うことが基本です。しかし、大切な子どもや今後増加する高齢者のことを考えると、個人から地域へ防犯の輪を広げ、ご近所同士の連携により、犯罪者を寄せつけないまちづくりをすすめることが大切です。
- 犯罪はスキに乗じて行われるのが特徴とされています。人の声や整理されている身のまわりなど、なんらかの形で住民の目がいつも行き届いていればスキは少なくなります。

この防犯ハンドブックは、ふれあい豊かなまちづくりをすすめるため、また身近な犯罪機会を減少させるために気をつけたいポイントをまとめてみました。



目 次

●一声運動	
「日常あいさつ」の一声	1
「お互いさま」の一声	1
「お誘い」の一声	1
「気づかい」の一声	2
「おたずね」の一声	2
「感謝・ねぎらい」の一声	2
●情報共有システム	3
●地区内の主な防犯活動団体	4
●犯罪機会減少のポイント	5
●防犯パトロールでのチェック項目	6
●個人防犯対策のポイント	7

一声運動

近所の人に声をかけられたり、じろじろ見られたり、見知らぬ人に注意を払われると犯罪者は遠ざかるようです。何かの縁で同じ地域に住んでいる人同士、隣近所で防犯の輪を広げましょう。

「日常あいさつ」の一声

家の近くで会った人には誰にでも、あいさつをする習慣を心がけましょう。

(おはようございます)

(こんにちは)

(こんばんは)



「お互いさま」の一声

旅行などで不在にする時は、隣近所に一声かけて支え合いましょう。また、迷惑をかけたりお世話になった時には一声かけましょう。



(よろしくお願いします)

(ただ今、帰りました)

(すみませんでした)

(ありがとうございました)

「お誘い」の一声

公民館の「パレット通信」、コミ協からの広報紙「コミュニティ南越谷」などに地域の行事予定が掲載されています。可能な限り参加して地域での輪を広げていきましょう。

(一緒にどうですか)

(一緒に参加しましょう)



「気づかい」の一声

幼児・児童や一人暮らしの高齢者、障害のある人など、不安や恐れを抱いている人には、私たちも気にかけていることを言葉に出して安心させてあげましょう。



- (お出かけですか)
- (いってらっしゃい)
- (お帰りなさい)
- (気をつけてね)
- (私にできることはないですか)
- (困っていることはないですか)

「おたずね」の一声

道に迷い不安そうにしている人や何やら困っている様子の人がいたら、思い切ったずねてみましょう。

- (どうされました)
- (何かお困りですか)
- (どちらにご用ですか)



「感謝・ねぎらい」の一声

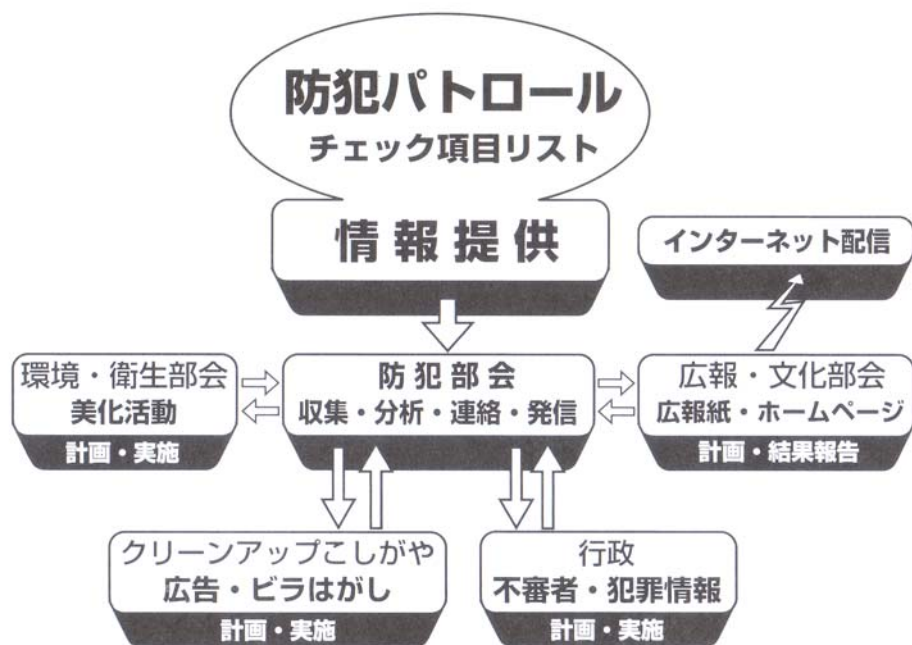
暑いまたは寒い中、地域のために汗を流している人やボランティア活動を行っている人に対して、仕事でやっている、または好きでやっていると思わないで一言、声をかけましょう。



- (お疲れさまです)
- (お世話になってます)

情報共有システム

南越谷地区では安全で安心なまちづくりのため、各種団体による防犯パトロールが実施されております。また、結果的に防犯につながる一斉清掃や花いっぱい運動の美化運動も行われていますので、これらを連携させる仕組みを構築してみました。



・防犯部会の役割

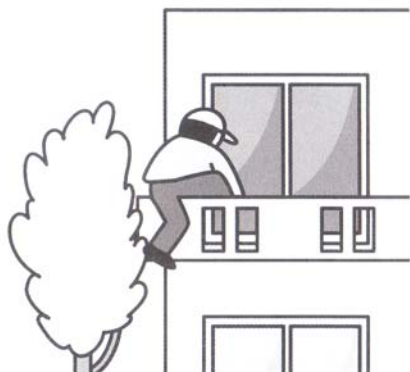
1. 活動サイクルは月次で行う。
2. パトロール活動に防犯チェックを加えてもらう。
3. 関係機関に必要事項を連絡する。
4. 関係機関に計画を作成・連絡してもらう。
5. 広報紙やインターネットで情報を報告したり参加を呼びかける。

地区内の主な防犯活動団体

- ・南越谷安全安心まちづくり推進協議会
- ・南越谷地区青少年指導員協議会
- ・南越地域防犯パトロール「ライト」
- ・茜町会自治会
- ・南越谷小学校PTA
- ・大間野小学校PTA
- ・富士中学校PTA



- ・瓦曽根3丁目ときわ会
- ・南団地寿会
- ・南越友の会（南越谷四・五丁目自治会）
- ・あかね会
- ・赤四喜楽会
- ・ファミリータウン・シルバークラブ
- ・若葉会



犯罪機会減少のポイント

犯罪者の立場に立つと以下のようなことが考えられます。まず、犯罪場所としては、入りやすく(=逃げやすい)見えにくいところです。このような視点から、防犯を考えてみましょう。また、犯罪が起きやすい状況も考えてみましょう。

1. 常に住民の目が行き届き、スキがなければ犯罪のチャンスは少ない

- ・ゴミ出しや犬のフンの放置状況からルールが守られていない。
- ・歩道や歩道の植木・花壇にゴミがいっぱい溜まっている。
- ・期限切れのビラ、看板がそのまま放置されている。
- ・落書きや不法投棄が増えている。
- ・放置自転車、違法駐車と思われる乗り物がいつもある。
- ・公共施設が傷つけられたり破壊されている。

2. 明るくそして見通しの良いところで犯罪は起こしにくい

- ・街灯が少ない、あるいは切れている。
- ・除草・樹木剪定が長い間なされていない。
- ・夜間の門灯に点灯協力がなされていない。
- ・光の届かない共用駐車場がある。



3. 行動を知られたり、音の出るところを嫌う

- ・うろうろしていても誰も声をかけない。
- ・犬に吠えられそうもない。
- ・砂利もなく音が出ることもない。



4. 時間や手間が少しでもかかることは、避けたい

- ・どこからも入れる公園や、見通しの悪い公園。
- ・人通りも少なく、街灯もなくガードレールもない道路。



5. 防犯カメラやセンサーライトなどの防犯設備があると近寄りづらい

防犯パトロールでのチェック項目

防犯パトロールは、犯人を捕まえることが目的ではなく、地域ぐるみで取り組みを行っていることをアピールすることが目的なことはご存知の通りです。

チェックシート記載は個人対象ではなく、公共の場所や共用している施設のチェックが目的です。なお、できたら写真をとっていただくと効果が高まります。

チェックシート

チェック日 月 日 () パトロール団体名

No	チェック	チェック項目	場 所
1		ゴミ出しの状況	
2		歩道のゴミ状況	
3		犬のフンの放置状況	
4		期限切れのビラ、看板	
5		落書き	
6		放置自転車、違法駐車	
7		公共施設の破壊状況	
8		街灯管理状況	
9		除草・樹木剪定状況	
10		光の届かない共用駐車場	
11		公園のフェンス状況	
12		ガードレールの管理状況	
13		(その他)	
14			
15			

個人防犯対策のポイント

個人の日常行動でも、これまで記述したことと関係してきますが、防犯意識向上のために犯罪機会減少のポイントを中心に考えてみましょう。

1. 住民の目が行き届くために

- ・ゴミ出しや犬のフン処置などのルールを守る。
- ・ガーデニングや自宅周辺を清掃する。
- ・子どもの登下校にあわせて家の外に出てみる。

2. 明るさや見通しを確保

- ・人通りの多い明るい道を歩く。
- ・自宅周囲の生け垣や鉢植え棚などは、見通しがきくようにこころがける。
- ・門灯点灯は就寝まで協力する。
- ・夜間は自転車のライトをつけ、通行を知らせる。

3. 音のするものに配慮する

- ・防犯ベルを持つ。あるいは持たせる。
- ・家の周りの空きスペースに砂利を敷く。



4. 時間や手間をかけさせ、自己防衛に努める

- ・バッグやカバンを車道と反対側に持つ。
- ・自転車の前カゴにネットやカバーを取り付ける。
- ・侵入防止のため、家屋周囲は整理整頓を行う。

5. 効果的な防止策でそなえる

- ・ドアに補助錠やドアロックカバーを取り付ける。
- ・防犯ガラス（合わせガラス）や防犯フィルムをはる。
- ・自動車に盗難防止装置を取り付ける。
- ・自転車には2つの鍵をつける。



6. 詐欺対策

- ・自分だけで判断しない。またお金はすぐには振り込まない。
- ・個人情報を与えない。また脅しには屈せず警察などに相談する。

7. 空き巣や車上荒らし対策

- ・家、自動車、自転車にはわずかな時間でも鍵をかける。
- ・車に上着、カバン、小銭を置かない。
- ・単体のカーナビ・パソコンなどを置かない。

イラスト協力

南越谷小学校

6年 櫻井 亮佑 さん

6年 小杉 朱音 さん

あとがき

このハンドブックは、あくまでも犯罪の機会を減らそうとして作成したものです。日ごろから被害にあわないための努力や緊急時の連絡先を決めておくなど、普段から防犯意識を持っていることが大切です。

皆様のご理解とお力添えをよろしく申し上げます。

平成21年2月 発行

企画・編集 南越谷地区コミュニティ推進協議会 防犯部会
南越谷地区センター内
TEL (048) 990-1200